

MITSUBISHI

遠隔制御用インターフェイス
形名：MAC-384IF

取付説明書

販売店・工事店さま用

インターフェイスについて

- インターフェイスには取付けできないルームエアコンがあります。
取付けの前に、使用可能なルームエアコンか、「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」でご確認ください。
- 本説明書で不明な点は、「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」でご確認ください。
- 「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」は、「三菱電機システムサービス」でご用意しております。

安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上取付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取付工事後、本説明書をお客さまにお渡ししてください。お客さまに、ルームエアコンの「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管していただくよう依頼してください。

警告 (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で取付けはしない。
不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 取付けは、取付工事説明書にしたがって確実に行う。
取付けに不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 取付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に取付けると、インターフェイス本体が落下し、ケガの原因になります。
- インターフェイス本体の電気品カバーを確実に取付ける。
インターフェイス本体の電気品カバーの取付けに不備があると、ほこり・水などにより、火災・感電の原因になります。
- 取付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
部品に不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、取付説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると、火災・感電の原因になります。

注意 (誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。)

- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除く。
人体などからの静電気は、インターフェイスを破損させる恐れがあります。
- 浴室など大量の湯気が発生する所には据付けない。
水のかかる場所、壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になります。
- 特殊環境には使用しない。
油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

1.取付けの前に

インターフェイスの用いかた

システム	こんなときに	機能	システム例
集中コントロール	キッチンにて、リビングと子供部屋と書斎のルームエアコンの運転/停止をしたいとき。	複数のルームエアコンを1ヶ所から運転/停止の操作ができます。 (MAC-820SC (4室用) MAC-821SC (8室用) MAC-822SC (6室用)) 詳細は「3-1.集中コントロール」をご覧ください。	
HA対応	HA、JEM-A対応のシステムに接続したいとき。	他メーカーのHA、JEM-A対応のシステムに接続できます。 (例:テレコントローラ、ホームオートメーションシステムなど) 詳細は「3-2.HA対応」をご覧ください。	
遠方コントロール	銀行のキャッシュコーナーなど無人の小スペースに設置したルームエアコンを遠方から運転/停止をしたいとき。 カードキー/コインタイマーなどを使って、ホテルなどの各部屋のルームエアコンの運転/停止を制限したいとき。 ホテルなどの各部屋でワイヤレスリモコンを使用せずに簡易パネル、スイッチなどを使用して運転/停止・冷暖・温度設定したいとき。	遠方からのスイッチON/OFFによりルームエアコンの運転/停止操作ができます。 詳細は「3-3.4.遠方コントロール」「5.遠方コントロール(CN591)」の詳細をご覧ください。	
元電源発停	リモコンでルームエアコンを操作するのが困難な場合に、電源の入力と同時にルームエアコンの運転/停止を制御したいとき。	ブレーカーの入/切によりルームエアコンの運転/停止ができます。詳細は「3-5.元電源発停」をご覧ください。	

使用部品 (イラストを参照して確認してください。)

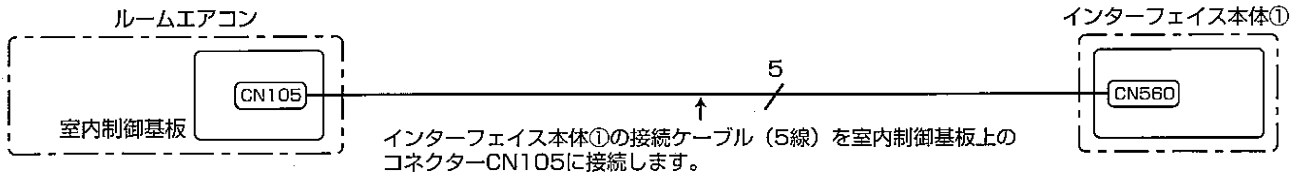
●取付け前に付属部品を確認してください。

付 属 部 品				
① インターフェイス本体 [接続ケーブル(5線)付き]	1	⑨ ⑤~⑦の固定用ネジ4×10	ルームエアコンまたはその近くに固定する場合に使用	1
② 壁面固定用金具	1	⑩ ⑤~⑦の固定用ネジ4×16	ルームエアコン部品と共締めし固定する場合に使用	1
③ ②の固定用ネジ3.5×12	4	⑪ 結束バンド		2
④ クッション材(粘着材付)	1	⑫ ファスナー(リード線まとめ用)		5
⑤ 固定用コードクランプ(小)	2	⑬ 配線用コードクランプ		5
⑥ 固定用コードクランプ(中)	2	⑭ ⑩の固定用ネジ3.5×12		5
⑦ 固定用コードクランプ(大)	2	⑮ インターフェイスケース固定用ネジ3.5×12		2
⑧ ⑤~⑦の固定用ネジ3.5×12	2	⑯ リード線(6線)		1

現地で準備していただく部品	
① 信号線延長ケーブル (遠方コントロール時のみ) リード線(6線)⑯の延長ケーブル	
② 関連別売部品 システムにより必要な別売部品を必要数をご用意ください。	

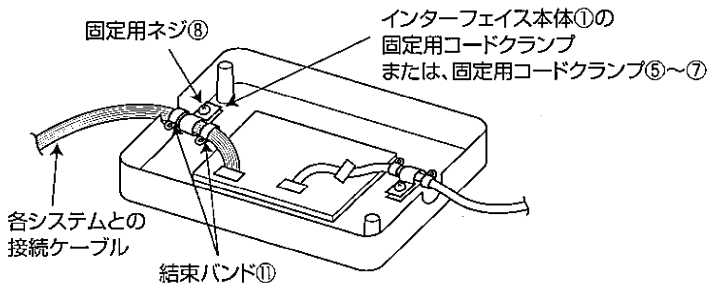
2. インターフェイスとルームエアコンの接続

- インターフェイス本体①とルームエアコンの室内制御基板をインターフェイス本体①の接続ケーブル（5線）で接続します。
- インターフェイス本体①から出ている接続ケーブル（5線）を延長または切断しますと、動作不良になります。また、接続ケーブル（5線）を電源電線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。



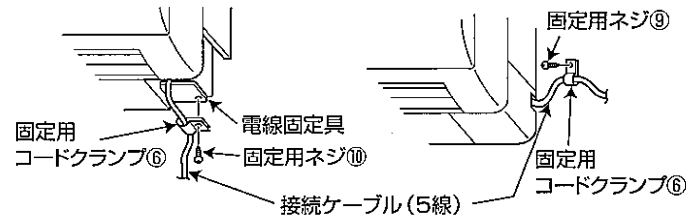
3. インターフェイスと各システムとの接続 （各システムの詳細は各システムの説明書をご覧ください。）

- 各システムとの接続ケーブルの太さに合わせ、インターフェイス本体①の固定用コードクランプを付属の固定用コードクランプ⑥～⑦に付替え、図のように結束バンド⑩で確実に固定してください。



- ルームエアコンに接続した接続ケーブル（5線）は、ルームエアコンまたは、その近傍に固定してください。

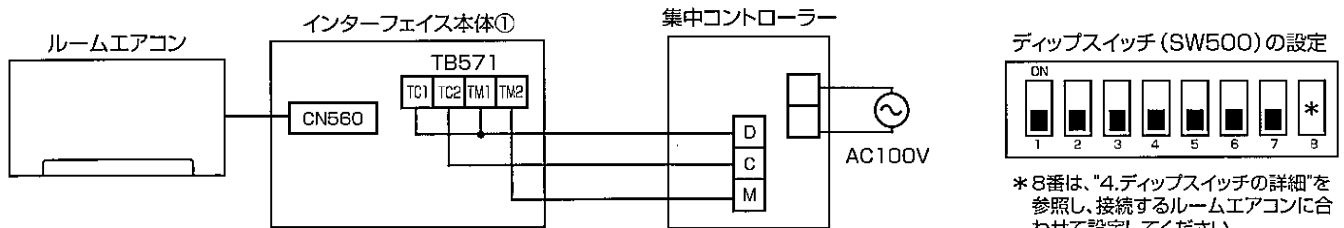
ルームエアコン付属の電線固定具固定ネジが使用できない場合は、固定用ネジ⑩に交換してください。



接続ケーブルは確実に固定しないと、コネクターが抜けたり、破損し、正常な動作をしません。

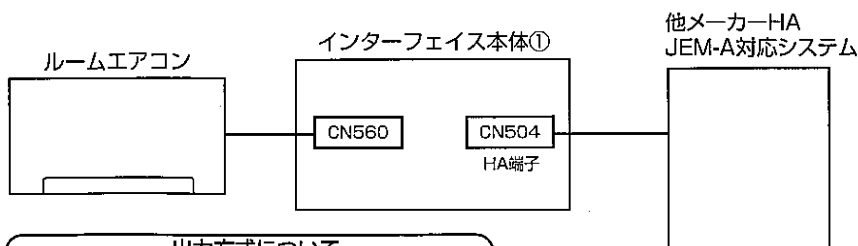
- インターフェイス本体①のディップスイッチ（SW500）の設定は、電源を入れる前に行ってください。
- インターフェイス本体①のディップスイッチ（SW500）は、正しく設定されないと正常な動作をしません。

3-1. 集中コントロール（集中コントローラーへ接続する場合）

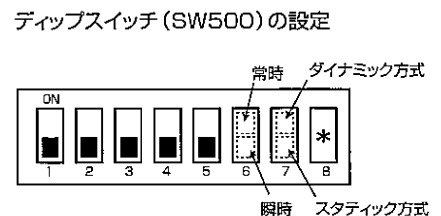


3-2. HA対応（他メーカーのHA JEM-A対応システムと接続する場合）

- ディップスイッチ（SW500）の6番の設定は、接続するシステムからの入力方式により異なります。入力方式が常時接点の場合はON、瞬時接点の場合はOFFに設定してください。
- ディップスイッチ（SW500）の7番の設定は、接続するシステムへの出力方式により異なります。出力方式がダイナミック方式（）の場合はON、スタティク方式（）の場合はOFFに設定してください。



出力方式について		停止	← 運転 →	停止
HA出力信号	ダイナミック方式			
	スタティク方式			

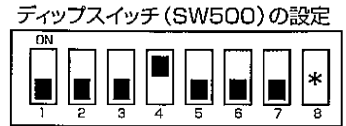
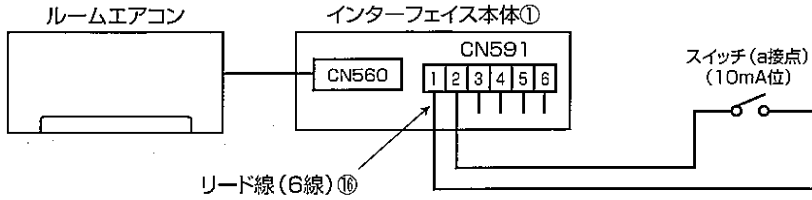


* 8番は、“4.ディップスイッチの詳細”を参照し、接続するルームエアコンに合わせて設定してください。

- 接続するHA、JEM-A対応システムに合わせて設定してください。

3-3.遠方コントロール (スイッチによるルームエアコンの運転/停止)

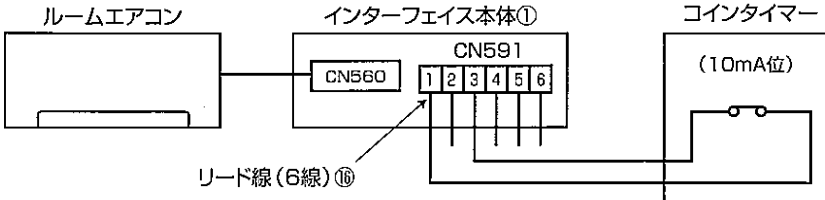
- 付属のリード線(6線)⑩をCN591に接続してください。
- 電灯スイッチのような入/切の切換スイッチを用いてルームエアコンの運転・停止を行うことができます。スイッチを含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください。



* 8番は、「4.ディップスイッチの詳細」を参照し、接続するルームエアコンに合わせて設定してください。

3-4.遠方コントロール (カードキー/コインタイマーを使用したルームエアコンの運転制限)

- 付属のリード線(6線)⑩をCN591に接続してください。
- 電灯スイッチのような入/切の切換スイッチを用いてルームエアコンを運転できないようにすることができます。コインタイマーは現地にて調達・配線してください。



* 8番は、「4.ディップスイッチの詳細」を参照し、接続するルームエアコンに合わせて設定してください。

※接点が閉じている時は、ルームエアコンを運転できません。

3-5.元電源発停

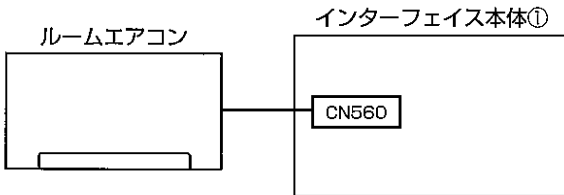
【ご注意】マルチ室外機に接続する場合は、元電源発停はできません。

ルームエアコンの元電源ONでルームエアコンの元電源OFF前の状態、または運転となり、元電源OFFでルームエアコンが停止します。

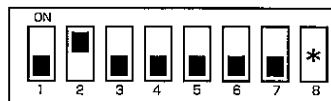
●運転モード

- ①初めてお使いになる時は、一度お手元のリモコンで、ご希望の運転状態にセットしてください。この時にインターフェイスが運転状態を記憶します。(運転から10秒間は元電源を切らないでください。)
- ②以後ルームエアコンの元電源ONで、記憶された運転状態で運転を始めます。
- ③長期間で使用していなかった時にはもう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをおすすめします。

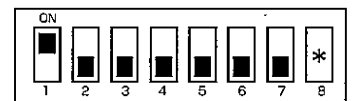
【ご注意】元電源発停で、2台以上のルームエアコンを起動させる時には、同時起動とならないようなシステムとしてください。(ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください。)



●元電源ONでかならず運転させたい場合
ディップスイッチ (SW500) の設定



●元電源ONで、元電源OFF前のルームエアコンの運転/停止状態にさせたい場合



* 8番は、「4.ディップスイッチの詳細」を参照し、接続するルームエアコンに合わせて設定してください。

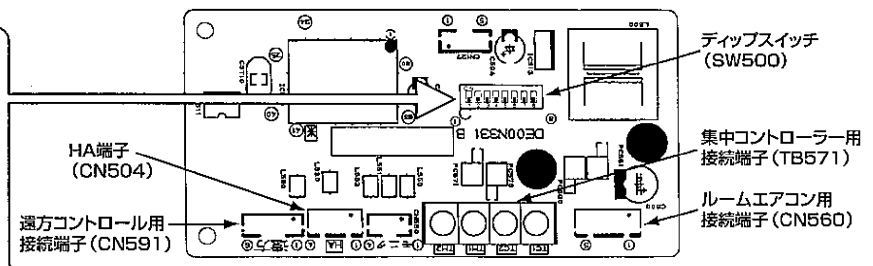
4.ディップスイッチの詳細

複数の機能を使う場合に設定してください。正確に設定されないと正常に動作を行いませんので、電源を投入する前に確認に行ってください。

●SW500の1、2番・・・元電源発停

電源発停モード	SW500	
	1番	2番
元電源発停無し	OFF	OFF
元電源発停モード1 (元電源OFF前の状態(運転/停止)に戻します。)	ON	OFF
元電源発停モード2 (元電源ONで必ず運転します。)	OFF	ON
使用しません (このモードには設定しないでください。)	ON	ON

●SW500の3、4番・・・CN591入力モード
詳細は「5.遠方コントロール(CN591)の詳細」をご覧ください。



●SW500の5～8番・・・HA端子・ルームエアコンの機能の設定

SW番号	機能	OFF	ON	備考
5番	未使用	OFFに設定	使用しません	
6番	HA端子(CN504)入力切換	パルス入力(瞬時)	レベル入力(常時)	TB571のTC1,2入力も切り換わる。
7番	HA端子(CN504)出力切換	スタティック方式	ダイナミック方式	
8番	ルームエアコンの風向上下設定有無確認	風向上下設定有り	風向上下設定無し	ワイヤレスリモコンに「風上下」ボタンがあれば風向上下設定有り(OFF)

5.遠方コントロール (CN591) の詳細

複数の機能を使う場合に設定してください。正確に設定されないと正常に動作を行いませんので、電源を投入する前に確実に行ってください。

●SW500の3,4番

CN591入力モード	SW500		動作の詳細
	3番	4番	
CN591遠方入力を使用しない	OFF	OFF	
禁止/許可、運転/停止モード1	ON	OFF	<p>●SW2 (手元禁止/手元許可) をONで手元禁止、OFFで手元許可。 ●SW2 (手元禁止/手元許可) をONで手元禁止の場合のみ、SW1 (運転/停止) のON/OFFが有効となる。 ●SW2 (手元禁止/手元許可) がONの場合、SW1 (運転/停止) がONで運転、OFFで停止となる。(手元禁止の場合は、リモコンからの操作は無効。SW1からの操作のみ有効。)</p>
禁止/許可、運転/停止モード2	OFF	ON	<p>●SW2 (手元禁止/手元許可) をONで停止かつ手元禁止。 OFFで操作可能 (“3-4.遠方コントロール” を参照) ●SW2 (手元禁止/手元許可) がOFFの場合のみ、SW1 (運転/停止) がONで運転、OFFで停止となる。(“3-3.遠方コントロール” を参照)</p>
冷暖、温度設定モード	ON	ON	<p>●ロータリースイッチの ①とコモンがONで停止。 ②とコモンがONで運転かつ20℃。 ③とコモンがONで運転かつ24℃。 ④とコモンがONで運転かつ28℃。 ●SW1 (暖房/冷房) をONで暖房、OFFで冷房となる。 (冷暖切替は、コモンと②~④のいずれかをONとして運転になったときに有効)</p>

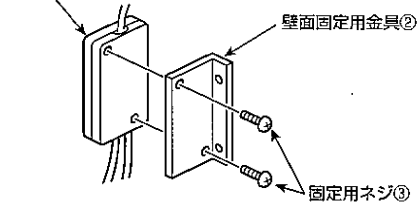
6.インターフェイス本体の取付けかた

●インターフェイス本体①の設置場所は、インターフェイス本体①の接続ケーブル (5線) が、室内ユニットへ届く範囲としてください。接続ケーブル (5線) の現地での延長は、正常に動作しなくなりますので、絶対に行わないでください。インターフェイス本体①の取付けは、柱・壁などに2本以上の固定用ネジ③を使って確実に固定してください。

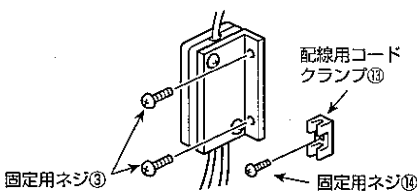
壁面固定用金具②を使う場合

1.壁面固定用金具②を、インターフェイス本体①に固定用ネジ③を2本使って取付ける。

インターフェイス本体①



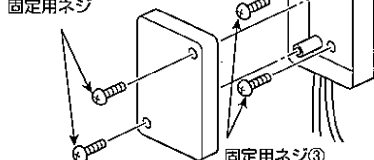
2.固定用ネジ③2本を使い、柱・壁などに取付ける。



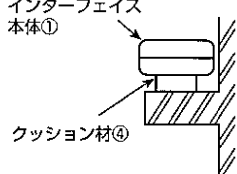
壁面に直接取付ける場合

固定用ネジ③を使いインターフェイス本体①のケースを壁面に取付ける。

インターフェイス本体①の固定用ネジ



※クッション材④を使ってインターフェイス本体①を取付ける場合は、落下しない場所に固定してください。



インターフェイス本体①を天井内・壁内へ取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けてください。

インターフェイス本体①を室内ユニット上部に取付ける場合には、天面グリルの取外しができなくなるため40mm以上離してください。

40mm以上

この部分からインターフェイス本体①の接続ケーブル (5線) を通してください。余った接続ケーブル (5線) は、室内ユニット本体後部の配管スペースへ収納してください。

取回しにより、たるみが生じた接続ケーブル (5線) はファスナー⑩でとりまとめてください。